

# 一桁たし算における被加数、加数の影響

後藤 聰（北海学園大学）

キーワード：一桁たし算、反応時間

## 目的

一桁たし算（被加数、加数が一桁のたし算）において、問題に含まれる被加数や加数などの数が反応時間（問題提示から回答までの時間）にどのような影響を与えるかについて発達的に検討する。

## 方 法

対象：小学校1年生39名、2年生38名

方法：パソコンを用いて被加数、加数が0～9の一桁たし算100問の回答を求めて反応時間を測定した。

## 結果と考察

計算不能の2年生1名の結果を除外した。

繰り上がりの有無、学年、被加数、加数を区別して反応時間の平均値(sec)をTableに示した。繰り上がりの有無を区別し、被加数、加数ごとに集計した反応時間に違いがあるかについて、学年差を含めて分析した。

繰り上がりのない問題について2(学年:1年・2年)×10(被加数:0～9)の分散分析を行ったところ、学年の主効果( $F(1, 74)=23.959, p<.01$ )、被加数の主効果( $F(9, 666)=7.566, p<.01$ )が有意であった。被加数について多重比較を行った結果、被加数0と2・3・4・6・7、1と3・4・6、5と6、2・3・4・6と9が1%水準、0と1・8、1と2・7、3・4と5、4・6と8、7と9が5%水準で有意であった。被加数0より1～8、1より2・3・4・6・7、5より3・4・6、8より4・6、9より2・3・4・6・7の反応時間が大きかった。

2(学年:1年・2年)×10(加数:0～9)の分散分析を行ったところ、学年の主効果( $F(1, 74)=21.346, p<.01$ )、被加数の主効果( $F(9, 666)=5.776, p<.01$ )が有意であった。加数について多重比較を行った結果、加数0と2～7、1と3・4・6、6と9が1%水準、0と1、1と2・7、2・3・4・7と9、5・8と6が5%水準で有意であった。加数0より1～7、1より2・3・4・6・7、5・8より6、9より2・3・4・6・7の反応時間が大きかった。

繰り上がりのある問題について2(学年:1年・2年)×8(被加数:2～9)の分散分析を行ったところ、学年の主効果( $F(1, 74)=36.297, p<.01$ )、被加数の主効果

( $F(7, 518)=3.293, p<.01$ )が有意であった。被加数について多重比較を行った結果、被加数2と7・8が1%水準、2と6、3～5・9と7・8が5%水準で有意であった。被加数2より6～8、3～5・9より7・8の反応時間が大きかった。

2(学年:1年・2年)×8(加数:2～9)の分散分析を行ったところ、学年の主効果( $F(1, 74)=38.630, p<.01$ )、加数の主効果( $F(7, 518)=4.152, p<.01$ )が有意であった。加数について多重比較を行った結果、加数2・3と6～8が1%水準、2と9、5・9と7・8が5%水準で有意であった。加数2より6～9、3・5・9より7・8の反応時間が大きかった。

全てにおいて2年生より1年生の方が反応時間は大きかった。

以上より、反応時間は、繰り上がりがない問題では被加数や加数0・1・5・8・9が小さく6・7は大きい、繰り上がりがある問題では2～5・9が小さく7・8は大きい傾向であった。

Table 一桁たし算問題の反応時間(sec)

被加数	繰り上がりがない問題				
	1年生	2年生	加数	1年生	2年生
0	1.869	1.599	0	1.953	1.600
1	2.335	2.026	1	2.356	1.968
2	2.909	2.379	2	2.872	2.277
3	3.001	2.457	3	2.917	2.443
4	3.156	2.436	4	3.021	2.452
5	2.399	2.082	5	2.547	2.181
6	3.486	2.483	6	3.325	2.652
7	2.854	2.440	7	2.960	2.431
8	2.474	2.038	8	2.541	2.037
9	1.967	1.718	9	2.060	1.768
繰り上がりがある問題					
被加数	1年生	2年生	加数	1年生	2年生
2	3.653	3.101	2	3.408	2.806
3	4.418	3.569	3	3.924	3.138
4	5.142	3.392	4	5.058	3.818
5	4.642	3.789	5	4.732	3.833
6	5.777	4.260	6	5.658	4.340
7	5.713	4.585	7	5.740	4.673
8	5.996	4.456	8	5.852	4.506
9	4.910	3.886	9	5.230	3.688